

科目 論理・表現I

单位数： 2 单位

(7組：富永・加藤文) (8組：高橋文・加藤文)

使用教科書： (be English Logic and Expression I Smart)

の目標：

【知識及び技能】外国語の理解を深め、その知識を実際のコミュニケーションにおいて適切に活用できる技能を身につける

【思考力、判断力、表現力等】目的・場面・状況に応じて的確に相手の意図を理解し、自分の考えを適切に表現したり伝えあったりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】言葉の背景にある文化に対する理解を深め、相手に配慮しながら主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションをはかろうとする態度を養う。

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
支援なしで、英文を正しく作ることができる。 必要な英語のきまりや特徴を使いこなし、情報や自分の考えを論理的に表現できる。	支援なしで、設問や課題に対する自分の考えを、適切な英語を使いこなし、要点や意図を明確にしながらか論理的に表現することができる。	支援なしで、与えられた課題に取り組み、積極的に課題解決を達成し、自主的に別の課題にも取り組む姿勢がある。

[illegible]

单位数： 1 单位

使用教科書： (be Logical Expression)

の目標：

【学びに向かう力、人間性等】言葉の背景にある文化に対する理解を深め、主体的に外国語を用いてコミュニケーションをはかろうとする態度を養う。

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
モデル音声を真似て同じように英文を読むことができる	英語で自分の考えを発信することができる	英語を使って相手に伝えようとする

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話 「や 」	話 「発 」 書					
1 学 期	自己紹介	自分のことについて英語で原稿を書き、相手に伝わるように発表できる	○	○	○	○		○	○	○	5
	自己紹介 多読	自分のことについて即興で相手に伝わるように発表できる 語彙250語までの短い文章を読むことができる。	○	○	○	○		○	○	○	8
	定期考査							○	○		1
	インタビュー 多読	相手の言ったことに対して3文以上の英文で応答することができる 語彙250語までのまとまりのある文章を読むことができる。	○	○	○	○		○	○	○	8
	インタビュー 多読	相手の言ったことに対して4文以上の英文で応答することができる 語彙250語までのまとまりのある文章を読むことができる。	○	○	○	○		○	○	○	7
	定期考査							○	○		1
2 学 期	暗唱 多読	有名人のスピーチを真似て暗唱することができる 語彙500語までの短い文章を読むことができる。	○	○	○			○	○	○	
	プレゼンテーション 多読	日本の都道府県について外国人にPRするプレゼンテーションをすることができる 語彙500語までのまとまった文章を読むことができる。	○	○	○			○	○	○	
3 学 期	ディベート	ディベートのやり方を学び、説得力のある内容でディベートを行うことができる	○	○	○	○		○	○	○	
	ディベート	ディベートのやり方を学び、説得力のある内容でディベートを行うことができる	○	○	○	○		○	○	○	
											合 計
											30

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 外国語 科目 英語コミュニケーションⅡ

教 科： 外国語 科 目： 英語コミュニケーションⅡ 単位数： 3 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：（1組、8組：服部）（2組、6組：下山）（3組、7組：吉川）（4組、5組：坂本）

使用教科書：（ELEMENT English Communication Ⅱ）

教科 外国語 の目標：

【知 識 及 び 技 能】外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深め、適切に活用できる技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】場面、状況に応じて情報や考えを的確に把握し、自らの考え等を適切に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的に外国語を用いる態度を養う。

科目 英語コミュニケーションⅡ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
4技能5領域の言語活動を行うための、文法や語彙等の知識の理解を深め、それらを場面・状況に応じて使う技能を養う。	教科書の文章や、話し手の内容を正確に把握し、それについて自分の意見を持ち、わかりやすく表現する力を身に付ける。	ペアワークなど、英語を用いたコミュニケーションを積極的に行う姿勢を育てる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話 （ や ）	話 （ 発 ）					
1 学 期	The culture map 【知識及び技能】 4技能5領域の言語活動を行うための、文法や語彙等の知識の理解を深め、それらを場面・状況に応じて使う技能を養う。 【思考力、判断力、表現力等】 教科書の文章や、話し手の内容を正確に把握し、それについて自分の	・指導事項 ①新出語彙の発音指導 語彙リストを使用 ②本文・問題の解説 ③音読 音読は音読シートを用いて行う（虫食い、サイトラ）。時間に余裕があればRepeating, Read&Look-up, Overlapping, Shadowing等を行う。					a, bの評価対象項目において、単元の指導目標に書かれている内容について、各アクティビティ・成果物毎の評価規準を定めて評価する。				5
	Stay Hungry, Stay Foolish 【知識及び技能】 4技能5領域の言語活動を行うための、文法や語彙等の知識の理解を深め、それらを場面・状況に応じて使う技能を養う。 【思考力、判断力、表現力等】 教科書の文章や、話し手の内容を正確に把握し、それについて自分の	・指導事項 ①新出語彙の発音指導 語彙リストを使用 ②本文・問題の解説 ③音読 音読は音読シートを用いて行う（虫食い、サイトラ）。時間に余裕があればRepeating, Read&Look-up, Overlapping, Shadowing等を行う。					a, bの評価対象項目において、単元の指導目標に書かれている内容について、各アクティビティ・成果物毎の評価規準を定めて評価する。				8
	定期考査						cの評価項目において、単元の指導目標に書か				1
	How Did Pink Become a "Girl's Color" in America 【知識及び技能】 4技能5領域の言語活動を行うための、文法や語彙等の知識の理解を深め、それらを場面・状況に応じて使う技能を養う。 【思考力、判断力、表現力等】 教科書の文章や、話し手の内容を	・指導事項 ①新出語彙の発音指導 語彙リストを使用 ②本文・問題の解説 ③音読 音読は音読シートを用いて行う（虫食い、サイトラ）。時間に余裕があればRepeating, Read&Look-up, Overlapping, Shadowing等を行う。					a, bの評価対象項目において、単元の指導目標に書かれている内容について、各アクティビティ・成果物毎の評価規準を定めて評価する。				8
	Life in a jar 【知識及び技能】 4技能5領域の言語活動を行うための、文法や語彙等の知識の理解を深め、それらを場面・状況に応じて使う技能を養う。 【思考力、判断力、表現力等】 教科書の文章や、話し手の内容を正確に把握し、それについて自分の	・指導事項 ①新出語彙の発音指導 語彙リストを使用 ②本文・問題の解説 ③音読 音読は音読シートを用いて行う（虫食い、サイトラ）。時間に余裕があればRepeating, Read&Look-up, Overlapping, Shadowing等を行う。					a, bの評価対象項目において、単元の指導目標に書かれている内容について、各アクティビティ・成果物毎の評価規準を定めて評価する。				7
2 学 期	定期考査						cの評価項目において、単元の指導目標に書か				1
	Predictably Irrational 【知識及び技能】 4技能5領域の言語活動を行うための、文法や語彙等の知識の理解を深め、それらを場面・状況に応じて使う技能を養う。 【思考力、判断力、表現力等】 教科書の文章や、話し手の内容を正確に把握し、それについて自分の	・指導事項 ①新出語彙の発音指導 語彙リストを使用 ②本文・問題の解説 ③音読 音読は音読シートを用いて行う（虫食い、サイトラ）。時間に余裕があればRepeating, Read&Look-up, Overlapping, Shadowing等を行う。					a, bの評価対象項目において、単元の指導目標に書かれている内容について、各アクティビティ・成果物毎の評価規準を定めて評価する。				8
	定期考査						cの評価項目において、単元の指導目標に書か				1
	A long Way Home 【知識及び技能】 4技能5領域の言語活動を行うための、文法や語彙等の知識の理解を深め、それらを場面・状況に応じて使う技能を養う。 【思考力、判断力、表現力等】 教科書の文章や、話し手の内容を正確に把握し、それについて自分の	・指導事項 ①新出語彙の発音指導 語彙リストを使用 ②本文・問題の解説 ③音読 音読は音読シートを用いて行う（虫食い、サイトラ）。時間に余裕があればRepeating, Read&Look-up, Overlapping, Shadowing等を行う。					a, bの評価対象項目において、単元の指導目標に書かれている内容について、各アクティビティ・成果物毎の評価規準を定めて評価する。				8
3 学 期	定期考査						cの評価項目において、単元の指導目標に書か				1
	Putting iPS Cells into Practice 【知識及び技能】 4技能5領域の言語活動を行うための、文法や語彙等の知識の理解を深め、それらを場面・状況に応じて使う技能を養う。 【思考力、判断力、表現力等】 教科書の文章や、話し手の内容を正確に把握し、それについて自分の	・指導事項 ①新出語彙の発音指導 語彙リストを使用 ②本文・問題の解説 ③音読 音読は音読シートを用いて行う（虫食い、サイトラ）。時間に余裕があればRepeating, Read&Look-up, Overlapping, Shadowing等を行う。					a, bの評価対象項目において、単元の指導目標に書かれている内容について、各アクティビティ・成果物毎の評価規準を定めて評価する。				8
	How We got to Now with Glass 【知識及び技能】 4技能5領域の言語活動を行うための、文法や語彙等の知識の理解を深め、それらを場面・状況に応じて使う技能を養う。 【思考力、判断力、表現力等】 教科書の文章や、話し手の内容を正確に把握し、それについて自分の	・指導事項 ①新出語彙の発音指導 語彙リストを使用 ②本文・問題の解説 ③音読 音読は音読シートを用いて行う（虫食い、サイトラ）。時間に余裕があればRepeating, Read&Look-up, Overlapping, Shadowing等を行う。					a, bの評価対象項目において、単元の指導目標に書かれている内容について、各アクティビティ・成果物毎の評価規準を定めて評価する。				8
	定期考査						cの評価項目において、単元の指導目標に書か				1

年間授業計画 新様式例

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科
教科： 外国語 科目： 論理・表現Ⅱ
対象学年組：第 2 学年 1 組～ 8 組
教科担当者：（1,3組：坂本）（2,6組：服部）（4,5組：石谷）（7,8組：下山）

外国語 科目 論理・表現Ⅱ
単位数： 2 単位

使用教科書：（ be English Logic and Expression Ⅱ Smart ）

教科 外国語 の目標：

【知識及び技能】 外国語の理解を深め、その知識を実際のコミュニケーションにおいて適切に活用できる技能を身につける

【思考力、判断力、表現力等】 目的・場面・状況に応じて的確に相手の意図を理解し、自分の考えを適切に表現したり伝えあったりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 言葉の背景にある文化に対する理解を深め、相手に配慮しながら主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションをはかろうとする態度を養う。

科目 論理・表現Ⅱ の目標：

【知識及び技能】		【思考力、判断力、表現力等】					【学びに向かう力、人間性等】			
支援なしで、英文を正しく作ることができる。必要な英語のきまりや特徴を使いこなし、情報や自分の考えを論理的に表現できる。		支援なしで、設問や課題に対する自分の考えを、適切な英語を使いこなし、要点や意図を明確にしながら論理的に表現することができる。					支援なしで、与えられた課題に取り組み、積極的に課題解決を達成し、自主的に別の課題にも取り組む姿勢がある。			
	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		聞	読	話 〔 や 〕	話 〔 発 〕					
1 学 期	関係詞 仮定法	関係詞・仮定法などを理解し運用できるようにする				支援なしで英文を正しく作ることができる。必要な英語のきまりや特徴を使いこなし、情報や自分の考えを、要点や意図を明確にしながら論理的に表現できる。	○	○	○	26
	仮定法	仮定法などを理解し運用できるようにする				支援なしで英文を正しく作ることができる。必要な英語のきまりや特徴を使いこなし、情報や自分の考えを、要点や意図を明確にしながら論理的に表現できる。	○	○	○	
	定期考査						○	○		
	仮定法 比較	仮定法・比較などを理解し運用できるようにする				支援なしで英文を正しく作ることができる。必要な英語のきまりや特徴を使いこなし、情報や自分の考えを、要点や意図を明確にしながら論理的に表現できる。	○	○	○	
	比較	比較などを理解し運用できるようにする				支援なしで英文を正しく作ることができる。必要な英語のきまりや特徴を使いこなし、情報や自分の考えを、要点や意図を明確にしながら論理的に表現できる。	○	○	○	
	定期考査						○	○		
2 学 期	接続詞 疑問文・否定文	接続詞・疑問文・否定文などを理解し運用できるようにする				支援なしで英文を正しく作ることができる。必要な英語のきまりや特徴を使いこなし、情報や自分の考えを、要点や意図を明確にしながら論理的に表現できる。	○	○	○	26
	定期考査						○	○		
	語法 強調・倒置・挿入・省略 さまざまな表現	語法・倒置・強調・挿入・省略・さまざまな表現などを理解し運用できるようにする				支援なしで英文を正しく作ることができる。必要な英語のきまりや特徴を使いこなし、情報や自分の考えを、要点や意図を明確にしながら論理的に表現できる。	○	○	○	
	定期考査						○	○		
3 学 期	代名詞	代名詞などを理解し運用できるようにする				支援なしで英文を正しく作ることができる。必要な英語のきまりや特徴を使いこなし、情報や自分の考えを、要点や意図を明確にしながら論理的に表現できる。	○	○	○	18
	形容詞・副詞	形容詞・副詞などを理解し運用できるようにする				支援なしで英文を正しく作ることができる。必要な英語のきまりや特徴を使いこなし、情報や自分の考えを、要点や意図を明確にしながら論理的に表現できる。	○	○	○	合計 70

